

2020 年度事業報告

1. 会議の開催

1) 定時総会

- (1) 2020 年度定時総会
2020 年 8 月 27 日 於 へるす出版 第 2 社屋 (2 階 会議室) +web 会議システム (Zoom)

2) 理事会 (通常 2 回開催)

- (1) 2020 年度第 1 回理事会 (2020 年度定時評議員会と合同開催)
2020 年 6 月 15 日 於 へるす出版 第 2 社屋 (2 階 会議室) +web 会議システム (Zoom)
- (2) 2020 年度第 2 回理事会
2021 年 3 月 29 日 於 へるす出版 第 2 社屋 (2 階 会議室) +web 会議システム (Zoom)

3) 評議員会 (定時 1 回開催)

- (1) 2020 年度定時評議員会 (前記 2020 年度第 1 回理事会と合同開催)

4) 幹事会

- (1) 2020 年度第 1 回幹事会
2020 年 5 月 25 日 於 へるす出版 第 2 社屋 (2 階 会議室) +web 会議システム (Zoom)
- (2) 2020 年度第 2 回幹事会 (2020 年度第 2 回運営委員会と合同開催)
2021 年 3 月 1 日 於 へるす出版 第 2 社屋 (2 階 会議室) +web 会議システム (Zoom)

5) 各種委員会

- (1) 運営委員会
2020 年 10 月 5 日 於 へるす出版 第 2 社屋 (2 階 会議室) +web 会議システム (Zoom)
2021 年 3 月 1 日 於 へるす出版 第 2 社屋 (2 階 会議室) +web 会議システム (Zoom)
(前記 2020 年度第 2 回幹事会と合同開催)
- (2) 編集委員会
2020 年 11 月 30 日 於 八重洲倶楽部
- (3) 倫理委員会
2020 年 9 月 8 日 於 八重洲倶楽部

2. 調査・研究の実施

1) 第 56 回日本交通科学学会学術講演会

大会長：水野 幸治 先生 (名古屋大学大学院工学研究科 教授)

会 期：2020 年 11 月 23 日 (月) ~24 日 (火)

※オンデマンド配信：11 月 23 日~29 日 (特別講演・一般講演・会長講演)

会 場：web 開催

2) 研究部会・研究：助成研究

(1) 助成研究

(一社) 日本損害保険協会 自賠責運用益拠出 助成研究

研究責任者：一杉 正仁

研究テーマ：「疾病患者の自動車運転による就労推進に向けた施策の構築」

2020 年度から 3 年継続 (2020~2022 年度)

(2) 受託研究

(一社) 日本自動車工業会 委託研究

【新規】

1. 稲栴丈司「長時間運転がドライバーの血液粘度・凝固系マーカーに及ぼす影響の検討」

2. 戸田均「自動車との衝突における車いす乗員の挙動と傷害」
3. 朝見正宏
「交通事故で受傷した頭部外傷患者における来院時の生理学的パラメータとその後の転帰についての検討」

【依頼】

1. 「アクセルペダル強踏による事故発生原因の解析と予防策の立案」
研究委員：一杉正仁（滋賀医科大学）
三林洋介（玉川大学）
永山正雄（国際医療福祉大学熱海病院）
渡邊 修（東京慈恵会医科大学）
槇 徹雄（東京都市大学工学部）
関根康史（福山大学工学部）
藤田和樹（福井医療大学保健医療学部）

3. 啓発・広報事業の実施

1) 賛助会員懇談会（※延期）

「第11回賛助会員懇談会」

※2021年1月20日（水）に弘済会館にて下記内容で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大、また緊急事態宣言発令下のため、開催中止（延期）となりました。

- ・講演1：「緊急車両に反射材が備えられるまで一救急救命士の殉職事故」
吉沢 彰洋（北アルプス広域消防本部）
- ・講演2：「反射材を医学で視る—ドクターカーで目指す緊急自動車のユニバーサルデザイン」
山下 智幸（日本赤十字社医療センター）
- ・講演3：「反射材の歴史としくみ及び諸外国の反射材採用事例紹介」
稲葉 亮（スリーエムジャパン（株））
- ・懇談、意見交換

2) 交通科学シンポジウム・交通科学安全セミナー

「第15回交通科学シンポジウム」

2021年3月12日（金） 於 損保会館

- ・メインテーマ；「高齢運転者の事故予防に向けた運転能力の適正評価と早期介入」
 1. 一杉 正仁 滋賀医科大学社会医学講座
「高齢運転者による事故の実態と解決すべき問題点」
 2. 馬場 美年子 慶應義塾大学医学部 総合医科学研究センター
「高齢運転者の自動車事故における法的責任と予防策について -刑事判例からの検討」
 3. 廣瀬 敏也、松井 靖浩 芝浦工業大学
「自動運転から手動運転切り替わり時のドライバー応答について」
 4. 三林 洋介 東京都立産業技術高等専門学校
「高齢者の情報処理と運転能力評価」
 5. 伊藤 安海 山梨大学大学院総合研究部
「高齢運転手診断・リハビリシステムの提案～高齢者個人の特性に合わせた対策～」

3) 出版物の発行

「日本交通科学学会誌」2020 Vol. 20

- ・第20巻補冊：第56回総会・学術講演会講演集（2020年10月25日発行）
- ・No. 1（2020年6月15日発行）
- ・No. 2（2021年3月17日発行）

4) 新聞の連載

「日刊自動車新聞」連載

2019年9月～2020年8月までの1年間終了

2020年9月～2021年8月までの1年間継続（予定）

以上